

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 13 14	職員の資質向上に努める。	いつでも誰でも訪問して頂けるような地域に、開かれたホーム運営を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇研修、認知症研修に参加する。 ・毎月のミーティングで各種の研修を実施し、資質向上を図る。 	6ヶ月
2	1	理念が長い。また項目が多い。	ホームの理念を誰もが分かりやすい、簡潔な内容にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者と職員とで新しい理念を考案する。 ・新しい理念に沿って支援を行う。 	6ヶ月
3	20 49	グループホームを地域の方に理解していただく。	地域の方と馴染みの関係を作る努力をし、地域行事に参加するようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の作品作りを入居者と職員とで行う。 ・気軽に立ち寄って話しが出来るように、認知症カフェを開催する努力をする。 	6ヶ月
4	21 25 48	入居者が重度化し、活動が少なくなっているので生活の中に楽しみを見つける。	入居者の笑顔を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・出来なくなった事より、今出来る事を職員と一緒にやる。 ・体操や季節の歌、レクリエーションなど職員と一緒にやる。 	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。